

将来ビジョン及び必要な取組・事業

| 提案主体名 | 木津川市 | ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。 | | | | |
|--|---|---|--|---|----------|-------------------------|
| 提案プロジェクト名 | NIMBY(ニンビー)なごみ焼却場から地域に望まれる環境未来型エコプラントづくりプロジェクト | | ※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。 | | | |
| 都道府県名 | 京都府 | ※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 | | | | |
| 対象地域 市町村名 | 木津川市 | ※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。 | | | | |
| ① 関連する分野 | 環境（循環・余熱・高効率発電、次世代自動車、里山保全） 超高齢化（デマンド型コミュニティタクシー、健康） その他（ ） | | ※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。 | | | |
| ② 将来ビジョン(環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標 (2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿)) | ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。 | | | | | |
| 将来ビジョン（目標）・・・「環境未来型のライフスタイルが実現された社会」（概要） ごみ焼却施設について、これまで、ごみが嫌・悪臭を発生する・排ガスで洗濯物が汚れるからということ、自分の家の近くには造って欲しくないというNIMBY（ニンビー：自分の裏庭には作ってほしくないNot In My Back Yard）という住民感情が強い。しかしながら、ごみは我々の日常生活の中で発生するものであり、その収集・運搬・処分の責任については、行政・排出者が負うものである。今後、ごみを都市から発生する新しい「資源」・「エネルギー源」としてとらえ、ごみ焼却施設をエネルギー変換施設と位置づけ、わが国の最新技術を用いて、地域に生まれ・歓迎されるエコプラントとして整備を進める。 また、ごみ焼却場から発生する熱エネルギーを生かした自家発電に取組み、次世代自動車（デマンド型コミュニティタクシー、ごみ収集・運搬車両など）の充電ステーションとしての機能を整備し、超高齢化社会の移動ツールとしてクリーンなデマンド型コミュニティタクシーの運行の実現をめざすとともに、周辺の自然環境などのロケーションなども活用し、地域社会に貢献するエコプラントの実現をめざす。 加えて、ごみの発生抑制、リユース、リサイクルなどを進め、エコプラント整備と併せて、環境未来型のライフスタイルの実現をめざす。 | | | | | | |
| ③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方) | ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。 | | | | | |
| 将来ビジョン(取組の基本的な考え方)・・・技術革新及びエコプラントを中心に据えた社会システムの構築（概要） ・エコプラント機能を発揮するための技術革新策・・・発電方式の技術革新による、飛躍的な発電効率のある自家発電設備を整備するなど、わが国の最新の技術を取り入れた環境未来型のクリーンセンターを整備する。 ・充電ステーションの設置・・・自家発電により生み出した電力を次世代自動車(電気自動車)に供給するための充電ステーションを整備する。 ・次世代自動車の開発・・・超高齢化社会の高齢者の移動ツールとして、次世代自動車を用いたクリーンなデマンド型コミュニティタクシーの開発・導入をする。また、ごみ収集・運搬車についても、次世代自動車により、クリーン化を図る。 ・エコプラントの整備に併せて、循環型・低炭素型のライフスタイルへの転換方策を検討し、市民とともに取り組む。また、エコプラントの機能として、災害時の地域防災拠点などを併せ持つこととする。 ・エコプラントのロケーションを活用して、自然環境との調和・活用などに取り組む。 | | | | | | |
| ④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等) | | | | | | |
| 番号 | 取組・事業の名称 | 取組・事業の概要 | 取組・事業の期間 | 実施主体・運営主体 | 価値、分野の種類 | 国の支援の必要性 |
| | ※異なる名称を付けてください。 | ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。 | | ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。 | | ※必要性がある場合、「○」を記入してください。 |
| (1) | 安心・安全な施設整備 | 環境未来型エコプラントとして、安全・安心対策を講じるためのリスク管理システムが確立された施設の整備 | 平成29年度～平成30年度 | 木津川市 | - | ○ |
| (2) | 次世代自動車の開発 | コミュニティタクシーとして利用できるワゴンタイプの電気自動車 | ～平成27年度 | 未定 | - | ○ |
| (3) | 次世代自動車の開発 | 電気自動車による次世代ごみ収集運搬車 | ～平成27年度 | 未定 | - | ○ |
| (4) | 充電ステーションの機能充実 | 自家発電の電力、太陽光発電などさまざまな発電から生み出された電力を効率的に蓄電池、電気自動車に急速かつ無線・有線のいずれの方法でも充電することができる安価な充電ステーションの整備 | ～平成27年度 | 未定 | - | ○ |
| (5) | 高効率発電等の技術向上 | 100℃クラスの焼却施設において、地域還元ができる電力量が十分に得られるよう、従来のボイラー式の高効率発電の技術向上及び熱発電電などを利用した新たな発電技術の開発 | ～平成24年度 | 未定 | - | ○ |
| (6) | 収集運搬業務の福祉サービス化 | 日常生活から生じるごみ収集は、高齢者の独居世帯に安否確認に大変有効である。今後、超高齢化社会に対応するため、収集運搬業務の福祉サービス化を図る。 | 平成28年度～ | 木津川市 | - | ○ |
| (7) | | | | | | |
| (8) | | | | | | |
| (9) | | | | | | |
| (10) | | | | | | |
| ⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容 | ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。 | | | | | |
| (1)安心・安全な施設整備 市民に信頼していただける施設として、災害等で施設が損傷した場合であっても、周辺の生活環境に影響を与えないよう、安心・安全に対するリスク管理システムを確立する。 | | | | | | |
| (2)、(3)次世代自動車の開発 ハイブリッド、又は電気による次世代自動車の開発が進んでいるが、クリーンな環境施策と超高齢化に対応した支援施策を展開するために、電気自動車によるコミュニティタクシー（ジャンボタクシータイプ）やごみ収集・運搬車両の実用車の技術開発を進める。 | | | | | | |
| (4)高効率発電等の技術向上 ごみ焼却場で焼却に伴う熱エネルギーを利用した自家発電について、高効率発電など技術向上が進んでいるが、発電効率に課題がある。 | | | | | | |